

# 日立市行財政改革大綱（第9次計画）の推進状況について

（令和5年9月30日現在）

## はじめに

行財政改革大綱（第9次計画）は、スタートから6か月が経過しました。そこで、大綱に掲げた推進事項54件の着実な推進を図るため、担当課所から推進事項の実施内容と進捗状況の報告を受け、年度中間（令和5年9月30日現在）での推進状況をまとめました。

これにより、計画の推進状況を確認しながら、第9次計画を計画どおりに進めていきます。

## 第9次計画の概要

### 《基本理念》

変革へのチャレンジ  
～未来を拓く最適な行政システムの構築～

### 《基本方針》

【基本方針1】  
行政の経営資源の  
最適化

#### 重点項目

- ◇ 簡素で効率的な行政運営
- ◇ 更なる財源確保・経費削減の検討推進
- ◇ 公共施設の最適化、公有財産の有効活用
- ◇ 行政の見える化、情報発信力の強化

【基本方針2】  
業務改革に積極的に  
チャレンジする  
環境づくり

#### 重点項目

- ◇ 職員の人材育成、事務改善の活性化推進

《推進期間》 令和5年度～令和7年度（3年間）

《推進事項》 54件

## 1 計画の進捗状況

第9次計画に掲げた推進事項は、その約94%が「計画どおり」であり、順調な滑り出しとなりました。

表-1 推進事項の進捗状況別件数及び構成比

進捗状況	件数	構成比
S 計画より進んでいる	0	0.0%
A 計画どおり進んでいる	51	94.4%
B 計画より遅れている	3	5.6%
C 未着手	0	0.0%
合 計	54	100.0%

表-2 基本方針・重点項目ごとの進捗状況別件数

基本方針・重点項目		項目数	進捗状況			
			S	A	B	C
<b>【基本方針1】行政の経営資源の最適化</b>		<b>51</b>	<b>0</b>	<b>48</b>	<b>3</b>	<b>0</b>
重点項目1	簡素で効率的な行政運営 (No.1~No.21)	21	0	21	0	0
重点項目2	更なる財源確保・経費削減の検討推進 (No.22~No.28)	7	0	7	0	0
重点項目3	公共施設の最適化、公有財産の有効活用 (No.29~No.44)	16	0	15	1	0
重点項目4	行政の見える化、情報発信力の強化 (No.45~No.51)	7	0	5	2	0
<b>【基本方針2】業務改革に積極的にチャレンジする環境づくり</b>		<b>3</b>	<b>0</b>	<b>3</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
重点項目	職員の人材育成、事務改善の活性化推進 (No.52~No.54)	3	0	3	0	0
合 計		54	0	51	3	0

表-3 B：計画より遅れている推進事項一覧

重点項目	推進事項
公共施設の最適化、 公有財産の有効活用	No.35 上下水道事業の安定的なサービス提供に向けた取組（継続）
行政の見える化、 情報発信力の強化	No.49 救急車の適正利用の啓発（継続）
	No.50 住宅用火災警報器設置及び維持管理の推進（継続）

## 2 基本方針・重点項目ごとの取組状況（概要）

※ 推進事項の取組状況の詳細については、（別表）《P 6～》のとおりです。

### (1) 【基本方針1】 行政の経営資源の最適化（51項目）

#### ア 【重点項目1】 簡素で効率的な行政運営（21項目）

「業務見直し及び民間活力の活用推進（7項目）」、「ひたち型スマートライフ構築に向けたデジタル化の推進（10項目）」、「脱炭素に向けた取組の推進（4項目）」において、効率的・効果的に業務を進めるための取組や再生可能エネルギーの活用、省エネルギーを意識した業務を推進します。

進捗状況	件数	構成比
S 計画より進んでいる	0	0.0%
A 計画どおり進んでいる	21	100.0%
B 計画より遅れている	0	0.0%
合計	21	100.0%

#### イ 【重点項目2】 更なる財源確保・経費削減の検討推進（7項目）

ふるさと寄附の確保や借地の解消推進に向けた取組など、更なる財源確保と、経費削減に向けた取組を推進します。

進捗状況	件数	構成比
S 計画より進んでいる	0	0.0%
A 計画どおり進んでいる	7	100.0%
B 計画より遅れている	0	0.0%
合計	7	100.0%

ウ 【重点項目3】 公共施設の最適化、公有財産の有効活用（16項目）

「公共施設の最適化（10項目）」、「公共施設の魅力向上・宣伝強化による利用促進（6項目）」において、施設の長寿命化や再編のほか、施設の魅力向上を図る取組などにより、公共施設の適正な配置・維持管理と、市民サービスの向上を図ります。

進捗状況	件数	構成比
S 計画より進んでいる	0	0.0%
A 計画どおり進んでいる	15	93.8%
B 計画より遅れている	1	6.2%
合計	16	100.0%

エ 【重点項目4】 行政の見える化、情報発信力の強化（7項目）

市政情報の積極的な発信や市が保有するデータの有効活用により、市政への関心・参画意欲向上と、客観的な根拠に基づく政策立案及び最適な事業運営を推進します。

進捗状況	件数	構成比
S 計画より進んでいる	0	0.0%
A 計画どおり進んでいる	5	71.4%
B 計画より遅れている	2	28.6%
合計	7	100.0%

(2) 【基本方針2】 業務改革に積極的にチャレンジする環境づくり（3項目）

ア 【重点項目】 職員の人材育成、事務改善の活性化推進（3項目）

職員一人一人が新たな取組を積極的に提案するためのスキルの向上及び果敢に業務改革を進める環境をつくるため、職員研修による人材育成や職員提案制度の活性化を進めます。

進捗状況	件数	構成比
S 計画より進んでいる	0	0.0%
A 計画どおり進んでいる	3	100.0%
B 計画より遅れている	0	0.0%
合計	3	100.0%

### 3 今後の取組

令和5年4月からスタートした第9次計画は、おおむね計画どおり進んでいます。

引き続き、令和7年度の計画期間終了まで行財政改革を進め、基本理念である「変革へのチャレンジ～未来を拓く最適な行政システムの構築～」の実現を図り、変化の激しい時代において、限られた経営資源を有効活用し、効率的で効果的な行財政運営を進めていきます。

## 別表 推進事項一覧

### (凡例)

- 1 推進事項欄の（継続）は前計画からの継続を表す。
  
- 2 進捗状況欄は計画の状況を4段階で表記
  - S 計画より進んでいる
  - A 計画どおり進んでいる
  - B 計画より遅れている
  - C 未着手

## 推 進 事 項 目 次

### 【基本方針1】 行政の経営資源の最適化

重点項目	推進事項	進捗状況	頁	
簡素で効率的な行政運営	業務見直し及び民間活力の活用推進	No. 1 働き方改革の推進(継続)	A	10
		No. 2 業務改善の推進(継続)	A	11
		No. 3 民間活力の活用推進	A	12
		No. 4 ごみ等収集システムの再構築	A	13
		No. 5 検診業務体制の再構築	A	14
		No. 6 道路の維持管理業務の再構築	A	14
		No. 7 部活動の段階的な地域移行	A	15
	ひたち型スマートライフ構築に向けたデジタル化の推進	No. 8 デジタル技術を活用した業務効率化(継続)	A	16
		No. 9 電子決裁システムの拡充(継続)	A	17
		No.10 デジタル社会に対応した窓口体制の構築	A	18
		No.11 コミュニティ活動への支援体制の充実(継続)	A	18
		No.12 生活保護医療扶助の「オンライン資格確認」の導入	A	19
		No.13 介護認定調査業務のデジタル化の検討	A	19
		No.14 先端技術を活用した公共交通サービス導入の促進	A	20
		No.15 中小企業のDX促進(継続)	A	21
		No.16 水道検針業務の効率化(継続)	A	21
		No.17 デジタル教材・機器を活用した学びの質の向上	A	22
	脱炭素に向けた取組の推進	No.18 脱炭素化の推進	A	23
		No.19 気候変動に適応したまち(暑さ対策)の推進	A	24
		No.20 中小企業の脱炭素経営の促進	A	25
		No.21 ゼロカーボンZOOの検討	A	26
更なる財源確保・経費削減の検討推進	No.22 新たな財源確保に向けた取組(継続)	A	27	
	No.23 地場産品等の活用によるふるさと寄附の確保(継続)	A	28	
	No.24 借地の解消推進(継続)	A	28	
	No.25 市営霊園管理料の収納業務強化	A	29	
	No.26 ジェネリック医薬品の利用促進(継続)	A	30	
	No.27 公園管理経費の削減に向けた取組	A	31	
	No.28 雨水管渠改築事業における工事費の削減	A	31	

重点項目	推進事項		進捗状況	頁
公共施設の最適化、公有財産の有効活用	公共施設の最適化	No.29 公共施設マネジメントの推進(継続)	A	32
		No.30 農業水利施設の長寿命化の推進	A	33
		No.31 幼児施設の適正配置等の推進(継続)	A	33
		No.32 市障害者就労支援施設(福祉作業所)の在り方検討	A	34
		No.33 市営住宅の管理戸数の適正化(継続)	A	34
		No.34 さくらのまちづくりの推進(継続)	A	35
		No.35 上下水道事業の安定的なサービス提供に向けた取組(継続)	B	36
		No.36 漏水調査の効率的な実施(継続)	A	37
		No.37 水道施設の維持管理の効率化	A	38
		No.38 学校再編の推進(継続)	A	39
	公共施設の魅力向上・宣伝強化による利用促進	No.39 文化施設等の魅力向上(継続)	A	40
		No.40 かみすわ山荘の魅力向上	A	41
		No.41 観光施設の魅力向上(継続)	A	42
		No.42 スポーツ施設の魅力向上	A	43
No.43 図書館の魅力向上		A	44	
No.44 博物館の魅力向上		A	45	
行政の見える化、情報発信力の強化	No.45 データの有効活用の推進(継続)	A	45	
	No.46 市政情報の発信方法に関する在り方検討	A	46	
	No.47 総合防災情報システムの導入による災害時情報収集・伝達体制の充実	A	47	
	No.48 若者視点による魅力発信の推進	A	47	
	No.49 救急車の適正利用の啓発(継続)	B	48	
	No.50 住宅用火災警報器設置及び維持管理の推進(継続)	B	49	
	No.51 学校給食の情報発信の充実(継続)	A	50	

## 【基本方針2】 業務改革に積極的にチャレンジする環境づくり

重点項目	推進事項		進捗状況	頁
職員の人材育成、事務改善の活性化推進	No.52 職員の人材育成の推進(継続)	A	51	
	No.53 職員提案・実績報告制度の活性化	A	52	
	No.54 消防職員の人材育成の推進(継続)	A	52	



## 表の見方

(継続) は第8次計画からの継続事項

No. 1	推進事項	働き方改革の推進 (継続)			
内 容	職員一人一人の生産性の向上と仕事に対する意欲や能力を存分に発揮できる働きやすい職場づくりを目指し、労務管理の適正化や柔軟な働き方に向けた取組を推進する。				
担当部	総務課・教育委員会 総務課				
主な取組	働き方の推進	数値で表せるものについては「推進指標」を、それ以外は「計画内容」を記載しています。	推進指標の指標(年度)又は推進計画の年度計画とそれに対する実績を記載しています。		
			令和5年度 (実績はR5.9.)		
推進指標	長時間勤務者の割合 (超過勤務時間540h超/年) 【R3年度：14.6%】	指 標	12.0%以下	11.0%以下	10.0%以下
		実 績			
	年間の平均休暇取得日数 【R3年度：15.4日】	指 標	16.0日以上	17.0日以上	17.0日以上
		実 績			
	男性の育児休業取得者の割合 【R3年度：2.6%】	指 標	10.0%	30.0%	50.0%
		実 績			
進捗状況	進捗状況を4段階で記載しています。 S 計画より進んでいる A 計画どおり進んでいる B 計画より遅れている C 未着手				
推進状況	令和5年度上期に取り組んだ内容を記載しています。				

(1) 【基本方針1】 行政の経営資源の最適化 (51 項目)

ア 【重点項目1】 簡素で効率的な行政運営 (21 項目)

(ア) 業務見直し及び民間活力の活用推進 (7 項目)

No. 1	推進事項	働き方改革の推進 (継続)																											
内 容	職員一人一人の生産性の向上と仕事に対する意欲や能力を存分に発揮できる働きやすい職場づくりを目指し、労務管理の適正化や柔軟な働き方に向けた取組を推進する。																												
担当部課	総務部 人事課 ・ 上下水道部 総務課 ・ 教育委員会 総務課																												
主な取組	①時間外勤務時間の縮減 ②休暇の取得促進 ③男性育児休業の取得促進 ④多様な働き方の推進		推 進 期 間																										
			令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度																								
推進指標	長時間勤務者の割合 (超過勤務時間540h超/年) 【R4年度：10.5%】	指 標	12.0%以下	11.0%以下	10.0%以下																								
		実 績	14.8%																										
	年間の平均休暇取得日数 【R4年度：15.3日】	指 標	16.0日以上	17.0日以上	17.0日以上																								
		実 績	9.4日																										
	男性の育児休業取得者の割合 【R4年度：24.0%】	指 標	10.0%	30.0%	50.0%																								
		実 績	33.3%																										
進捗状況	A 計画どおり進んでいる																												
推進状況	<p>【時間外勤務時間の縮減】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時間外勤務の上限規制及び事前命令の徹底</li> <li>・ 労働基準法適用の出先機関等での36協定締結 (市長事務部局18件、企業局1件)</li> <li>・ ノー残業デイの徹底 (18時一斉消灯) など、推進強化月間の実施 (R5.8月実施)</li> </ul> <p>&lt;超過勤務者の割合&gt; ※ 9月30日までに年間540hの半分の270hを超える職員割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>長時間勤務者</th> <th>対象職員</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R5上期</td> <td>202人</td> <td>1,361人</td> <td>14.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【休暇の取得促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゴールデンウィーク等に合わせた年次休暇や夏季の連続休暇の取得についての周知</li> <li>・ 夏季休暇について、災害対応等を理由に取得期間を10月末まで延長</li> </ul> <p>&lt;年間の平均休暇取得日数&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>年次休暇の平均取得日数</th> <th>夏季休暇の平均取得日数</th> <th>平均取得日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R5上期</td> <td>4.2日</td> <td>5.2日</td> <td>9.4日</td> </tr> </tbody> </table> <p>【男性育児休業の取得促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 男性育児休業の取得促進のための周知</li> <li>・ 対象者に対するパパママ予定表による個別案内の実施</li> </ul> <p>&lt;男性育児休業の取得状況&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>対象者</th> <th>育児休業取得者</th> <th>取得率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R5上期</td> <td>21人</td> <td>7人</td> <td>33.3%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	長時間勤務者	対象職員	割合	R5上期	202人	1,361人	14.8%	年度	年次休暇の平均取得日数	夏季休暇の平均取得日数	平均取得日数	R5上期	4.2日	5.2日	9.4日	年度	対象者	育児休業取得者	取得率	R5上期	21人	7人	33.3%
年度	長時間勤務者	対象職員	割合																										
R5上期	202人	1,361人	14.8%																										
年度	年次休暇の平均取得日数	夏季休暇の平均取得日数	平均取得日数																										
R5上期	4.2日	5.2日	9.4日																										
年度	対象者	育児休業取得者	取得率																										
R5上期	21人	7人	33.3%																										

【多様な働き方の推進】

- ・多様な働き方に向けた時差出勤やテレワークなどの取組を推進
- ・時差出勤の申請に続き、テレワークの実施申請を電子申請に見直し（R5.4月実施）

<時差出勤の取組状況>

年度	実施件数 (延べ日・人)	実施人数	職員数	割合 (実施人数/職員数)
R5上期	217件	33人	1,361人	2.4%

<テレワークの取組状況>

年度	実施件数 (延べ日・人)	実施人数	職員数	割合 (実施人数/職員数)
R5上期	155件	41人	1,361人	3.0%

No. 2	推進事項	業務改善の推進（継続）			
内 容	業務の効率化・最適化を図るため、業務見直しの好事例の周知や、改善につながる手法の検討と提案を行うことなどにより、全庁的に業務改善を推進する。				
担当部課	総務部 行政マネジメント課 ・ 関係課				
主な取組	①業務改善手法の検討 ②業務改善手法の庁内周知	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進指標	改善手法等の提案件数	指 標	2件	3件	3件
		実 績	1件		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実績報告制度の周知を行い、各課における業務改善の取組を推進した。</li> <li>・発表資料等の作成用にパワーポイントのテンプレートを作成し、資料作成に係る事務の効率化を図った。</li> <li>・窓口業務の改善について、関係課（市民課、デジタル推進課、行政マネジメント課、福祉関係課、税関係課）による改善手法の検討を開始した。</li> </ul>				

No. 3	推進事項	民間活力の活用推進			
内 容	民間の活力を活用し、効果的な事業手法を展開することで、行政サービスの質の向上や行政課題の解決に向けた、官民協働による取組を推進する。				
担当部課	総務部 行政マネジメント課 ・ 関係課				
主な取組	①民間委託の導入検討・推進		推 進 期 間		
	②PPP/PFI導入手法の検討		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度
推進計画	PPP/PFI手法導入優先 的検討規程の策定	年度計画	策定	運用	運用
		実 績	策定準備		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務改善検討業務洗い出し調査により各課所から提出された業務について、現状ヒアリング及び業務委託導入に向けた検討を行った。</li> <li>・PPP/PFI手法の導入が適切であるかを従来型手法に優先して検討する手続及び基準等を定める、「PPP/PFI手法導入優先的検討規程」の策定に向けて、本市における規程（案）を検討した。</li> </ul>				

No. 4	推進事項	ごみ等収集システムの再構築			
内 容	循環型社会の形成を推進するため、市民のライフスタイルの変化に対応した集積所の在り方や、使用済みプラスチックを始めとした廃棄物等の資源化に向けた分別収集方法を検討することにより、最適なごみ等収集システムを再構築する。				
担当部課	生活環境部 資源循環推進課				
主な取組	①ごみ等収集システムの見直し検討 ②使用済みプラスチック廃棄物の資源化に伴う収集方法等の検討 ③事業系廃棄物（紙おむつ等）適正処理の検討	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進計画	ごみ等収集システムの見直し	年度計画	試行・検証	実施	推進
		実 績	試行・検証		
	使用済みプラスチック廃棄物の資源化	年度計画	試行・検証	実施	推進
		実 績	試行・検証		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<p>【ごみ等収集システムの見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回ごみ等収集システム研究会開催（5/17）</li> <li>・日立市コミュニティ推進協議会に対し進捗状況報告（7/19役員会、7/28会長会議）</li> </ul> <p>【プラスチック資源循環体制の構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラスチック資源循環促進法に基づく指定法人への委託に関するWEB説明会参加（6/26）</li> <li>・水戸市清掃工場、リサイクルセンター視察（8/25）</li> <li>・プラスチック資源循環促進法に基づく『先進的モデル形成支援事業』の事例WEB説明会参加（8/30）</li> </ul> <p>【事業所から排出される紙おむつの一般廃棄物処理の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所排出の紙おむつを一般廃棄物として処理する方針決裁（7/21）</li> <li>・清掃センターで受入れ開始（9/1～）</li> </ul> <p>【新たな検討事項】</p> <p>燃えるごみ集積所のボックス化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集積所の環境改善を図るため、燃えるごみ集積所のボックス化について検討を開始（R5.6月～）</li> </ul>				

No. 5	推進事項	検診業務体制の再構築			
内 容	検診受診率や利用者の利便性向上、事務の効率化を図るため、検診を受けやすい環境整備や実施方法の見直しを行うことなどにより、業務体制を再構築する。				
担当部課	保健福祉部 健康づくり推進課				
主な取組	①関係機関との連携による検診体制の充実 ②利用者の利便性向上に向けた取組の検討 ③検診実施方法の見直し検討	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進計画	WEB予約(がん検診)の導入	年度計画	検討・準備	導入	運用
		実 績	導入準備		
	検診会場でのキャッシュレス決済の導入	年度計画	検討・準備	導入	運用
		実 績	導入準備		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間検診スケジュールの検証や通知等の発送時期の見直しについて、関係機関(日立メディカルセンター、IAC)との協議を行った。</li> <li>・がん検診のWEB予約の導入と検診料金のキャッシュレス決済導入について、検討を開始した。</li> </ul>				

No. 6	推進事項	道路の維持管理業務の再構築			
内 容	道路に関する市民からの陳情・要望に的確かつ迅速に対応するため、修繕業務等の包括的な民間委託や道路修繕業務システムの導入を検討する。				
担当部課	都市建設部 道路管理課				
主な取組	①道路修繕業務等の包括的な民間委託の検討 ②道路修繕業務のシステムの導入検討	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進計画	道路修繕業務等の包括的な民間委託の推進	年度計画	検討	実施・検証	実施
		実 績	検討		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<p>【道路修繕業務等の包括的な民間委託の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間委託の導入について、日立市建設業協会と意見交換を行った。引き続き、事業実施に向け、委託方法等について内部調整していくこととする。</li> </ul> <p>【道路修繕業務のシステムの導入検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県が導入している道路の維持管理支援システムを期間限定で利用させてもらい、一連の流れについて操作などを行った。</li> <li>その後、茨城県道路維持課、高萩工事事務所、県と維持管理支援システムの契約をしている日本工営(株)と、市に導入する場合の改善点等について意見交換を行った。</li> </ul>				

No. 7	推進事項	部活動の段階的な地域移行			
内 容	教職員の部活動に係る負担軽減と生徒にとって望ましいスポーツ・文化環境の維持を図るため、休日における部活動の段階的な地域移行の手法を検討する。				
担当部課	教育委員会 指導課				
主な取組	①関係者協議の場の設置 ②先行実施地域の選定 ③全地域での移行実施	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進指標	地域移行を実施する中学校数 (累計) (全15校)	指 標	3校	7校	15校
		実 績	2校		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月から十王中学校区でNPO法人UPOPO十王スポーツ文化クラブが月2回、7種目11部活動の地域移行を実施している。</li> <li>・9月から滑川中学校区でNPO法人滑川ファミリースポーツクラブが月1回、9種目12部活動の地域移行を実施している。</li> <li>・7月5日に第1回部活動の段階的な地域移行に向けた検討委員会を実施した。(運動部モデル地域実践を踏まえた協議、文化部課題等の整理)</li> <li>・9月25日に第2回部活動の段階的な地域移行に向けた検討委員会を実施した。(運動部・文化部取組の報告、種目ごとに地域移行の進行を確認する機会の設定を確認)</li> </ul>				

(イ) ひたち型スマートライフ構築に向けたデジタル化の推進（10項目）

No. 8	推進事項	デジタル技術を活用した業務効率化（継続）			
内 容	市民サービスの向上と業務の効率化を図るため、行政手続等のオンライン化やRPA、AI-OCRの活用など、デジタル技術を活用した取組を推進する。				
担当部課	市長公室 デジタル推進課 ・ 関係課				
主な取組	①行政手続等のオンライン化推進 ②RPA、AI-OCRの活用 ③ペーパーレス会議の推進	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進指標	新たに公開するオンライン手続等の件数 【R3年度：72件】	指 標	150件	200件	250件
		実 績	123件		
	新たに実施するRPA、AI-OCR活用業務数 【R3年度：8業務】	指 標	10業務	10業務	10業務
		実 績	6業務		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<p>・本年度本格的に導入した電子申請作成ツール「LoGoフォーム」について、7月にデジタルセミナー（職員研修）を開催するなど全庁的に活用を促し、行政手続等のオンライン化を図った。</p> <p>・RPA・AI-OCRを活用した業務の効率化及び従事時間の短縮 6業務 141時間削減/年 （内訳）RPA・AI-OCR：1件、AI-OCR：5件</p> <p>（成果） 【RPAとAI-OCRを活用し、業務時間削減を図ったもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ はり、きゅう、マッサージ等施術費助成券交付申請書入力業務【高齢福祉課】 件数：2,500件 20時間削減/年</li> <li>【AI-OCRを活用し、業務時間削減を図ったもの】</li> <li>・ 緊急通報装置及び福祉電話使用者契約状況確認業務【高齢福祉課】 件数：1,600件 11時間削減/年</li> <li>・ 乳がん・子宮頸がん同日検診 電話申込み受付処理業務【健康づくり推進課】 件数：320件 10時間削減/年</li> <li>・ 乳がん・子宮頸がん検診 電話申込み受付処理業務【健康づくり推進課】 件数：200件 10時間削減/年</li> <li>・ 1歳6か月児健診アンケート入力事務【健康づくり推進課】 件数：800件 40時間削減/年</li> <li>・ 3歳児健診アンケート入力事務【健康づくり推進課】 件数：900件 50時間削減/年</li> </ul>				



No. 9	推進事項	電子決裁システムの拡充（継続）			
内 容	業務の効率化を図るため、電子決裁システムの利用促進のほか、保存文書のデータ化や各種計画書、報告書等の行政資料のデジタルデータによる配信に向けた取組を推進する。				
担当部課	総務部 総務課 ・ 行政マネジメント課 ・ 関係課				
主な取組	①システムの機能充実・対象とする文書の基準の見直し ②行政資料（各種計画書、報告書）のデジタル配信（データ化）の検討	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進指標	対象文書の電子決裁処理率	指 標	70%	80%	90%
		実 績	—		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<p>【電子決裁システムの利用促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電子決裁システムの機能充実、対象文書の基準の見直しの前提となる、使用状況調査を実施したほか、下期に予定していた課長未満の職員を対象としたアンケートを前倒して実施した。</li> <li>調査及びアンケートの結果の集計・分析、下期に実施する課長等を対象としたアンケート、啓発、職員向け研修・指導などの準備を行っている。</li> </ul> <p>【行政資料のデジタル配信検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種計画書、報告書等の行政資料のデジタルデータによる配信に向けて、対象とする資料の範囲やデータの格納方法などについて検討した。</li> </ul>				

No. 10	推進事項	デジタル社会に対応した窓口体制の構築			
内 容	市民の利便性向上や業務の効率化を図るため、マイナンバーカードやデジタル技術を活用した各種サービスを実施し、スマートな窓口体制を構築する。				
担当部課	総務部 市民課				
主な取組	①マイナンバーカードの交付促進 ②マイナンバーカード・デジタル技術を活用した各種サービスの推進		推 進 期 間		
			令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度
推進指標	マイナンバーカードの交付率 【R4年度：64.0%（12月現在）】	指 標	85.0%	95.0%	100%
		実 績	83.4%		
	証明書コンビニ交付サービスの件数 【R3年度：10,919件】	指 標	22,000件	27,000件	31,000件
		実 績	14,749件		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年8月28日から市内19の郵便局におけるマイナンバーカードの申請サポートサービスを実施し、申請機会の更なる確保を図った。</li> <li>令和5年4月1日からコンビニ交付における証明書交付手数料を減額した。</li> <li>令和5年5月22日から全支所にらくらく窓口証明交付端末を増設し、端末操作を職員が補助することにより、市民にコンビニ交付の利便性を実感できる機会を設けた。</li> </ul>				

No. 11	推進事項	コミュニティ活動への支援体制の充実（継続）			
内 容	コミュニティとの連携・協働によるまちづくりを推進するため、「日立市コミュニティ活動推進行動計画」に登載した推進事項を推進する。				
担当部課	生活環境部 コミュニティ推進課				
主な取組	①デジタル化の推進 ②ポイントアプリの導入検討 ③SNS等を活用した情報発信		推 進 期 間		
			令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度
推進指標	各交流センター配置のデジタルサイネージへの掲載情報数	指 標	8,200件	11,000件	13,800件
		実 績	2,471件		
	各交流センター配置のタブレット端末の利用人数	指 標	4,400人	6,600人	8,800人
		実 績	793人		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>各交流センターにデジタル支援員を派遣し、デジタル機器の操作研修、アンケートフォームの作成、SNS開設・投稿などの支援を行った。</li> <li>ポイントアプリの導入に向け、本市での導入イメージの整理、導入済地域の実態調査、関係課所・コミュニティへの説明等を行った。</li> <li>デジタルサイネージやコミュニティ推進協議会のInstagram等で、コミュニティのイベント情報等をお知らせした。</li> </ul>				

No. 12	推進事項	生活保護医療扶助の「オンライン資格確認」の導入			
内 容	生活保護医療扶助の資格確認の効率化を図るため、マイナンバーカードを利用したオンライン資格確認システムを導入する。				
担当部課	保健福祉部 生活支援課				
主な取組	①オンライン資格確認システムの導入 ②被保護者のマイナポータル利用申込みの支援	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進計画等	オンライン資格確認システムの導入	年度計画	導入	運用	運用
		実 績	導入中		
	医療券・調剤券(紙)の発行枚数 【H30～R3年度平均値：55,190枚】	指 標	55,200枚	27,600枚	22,080枚
		実 績	30,052枚		
	被保護者のマイナポータル利用申込率	指 標	42%	50%	60%
		実 績	42.9%		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<p>【オンライン資格確認システムの導入】</p> <p>委 託 名：①生活保護事務電算システム改修業務委託 ②クラウド版レセプト管理システム改修業務委託 ほか2件</p> <p>相 手 方：北日本コンピューターサービス(株)</p> <p>契約期間：R5.4.1～R6.3.31</p> <p>金 額：①2,420千円 ②704千円 ①+② 3,124千円</p>				

No. 13	推進事項	介護認定調査業務のデジタル化の検討			
内 容	介護認定調査業務の効率化や迅速化、調査票作成の標準化を図るため、デジタル化を検討する。				
担当部課	保健福祉部 介護保険課				
主な取組	①介護認定調査業務の効率化の検討 ②介護認定調査業務システムの導入	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進計画	介護認定調査業務システムの導入	年度計画	検討	準備・導入	運用
		実 績	検討		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他市町村の介護認定調査業務システムの導入状況について、電話等で聞き取り調査を実施するとともに、現在の当市の介護認定調査業務の課題抽出、改善方法等を検討した。</li> <li>・介護認定調査業務システムについて、現システム（介護認定審査会支援システム）との連携についての確認、数社のシステム概要について説明等を受け、導入に向けての検討を開始した。</li> </ul>				

No. 14	推進事項	先端技術を活用した公共交通サービス導入の促進			
内 容	公共交通体系を維持・確保するため、ひたちBRTの自動運転システムや、新モビリティサービス（AIデマンドサービス、Ma a S）等の先端技術を活用した公共交通サービスの導入を促進する。				
担当部課	都市建設部 都市政策課				
主な取組	①ひたちBRTの自動運転システムの導入支援 ②新モビリティサービス（AIデマンドサービス、Ma a S）実装の支援	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進計画	ひたちBRTにおける自動運転システムの導入	年度計画	自動運転レベル2 (運転員有)	検証・準備	自動運転レベル4 (運転員無)
		実 績	実証支援		
	公共交通における先端技術(AIデマンド、Ma a S等)の導入	年度計画	準備・導入	検証・実施	検証・実施
		実 績	導入準備		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<p>【ひたちBRTにおける自動運転システムの導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ひたちBRTの自動運転の導入に向けた実証実験について、市報に掲載し市民に周知を行い、社会受容性の向上を図るとともに、沿線の小学校にチラシを配布し安全確保に努め、9月4日から実施している自動運転実証実験を支援した。 (実証実験実施期間：9/4～10/13、走行区間：河原子BRTバス停～南部図書館バス停)</li> </ul> <p>【公共交通における先端技術(AIデマンド、Ma a S等)の導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民が運営する乗合タクシーみなみ号にAIシステムを導入するため、業務委託し、システムを開発した。また、坂下地区、久慈地区、運行事業者に説明会を実施して、導入に向けた準備を進めた。</li> </ul>				

No. 15	推進事項	中小企業のDX促進（継続）			
内 容	中小企業の経営継続のため、コロナ禍を契機とする「新しい生活様式」に対応した企業変革、経営革新に向け、デジタル技術を活用した取組を支援する。				
担当部課	産業経済部 商工振興課				
主な取組	①DX診断、ハンズオン支援（専門家派遣）の実施 ②デジタルツールの導入支援など	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進指標	DX診断・ハンズオン支援を実施する中小企業数 【R4年度：9社（12月現在）】	指 標	9社	9社	9社
		実 績	12社		
	DX推進のための研究会参加企業数 【R4年度：8社（12月現在）】	指 標	8社	8社	8社
		実 績	8社		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済産業省「地域新成長産業創出促進事業費補助金」の採択を受け、企業において自走可能なDX体制の構築のため、専門家によるハンズオン支援及びDX研究会等を実施している。</li> <li>・企業が自らDXに着手できる環境を推進できるよう、支援事例の横展開に向けたDXテストベッドを構築している。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【DXテストベッド】</p> <p>テストベッドとは、新技術の実証試験に使用されるプラットフォームの総称であり、実証基盤とも呼ばれる。産業支援センターにおいては、ツールの展示や活用事例のパネルでの紹介などをDXテストベッドにおいて行い、市内中小企業によるDX技術・ツールの実証促進を図っている。</p> </div>				

No. 16	推進事項	水道検針業務の効率化（継続）			
内 容	デジタル技術を活用した大口径水道メータの自動検針をメータの更新時期等を考慮し計画的に進めるなど、水道検針業務の効率化に向けた取組を推進する。				
担当部課	上下水道部 料金課				
主な取組	①効率的な検針手法の調査・検討	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進指標	大口径スマートメータの設置数（累計）（全24基）	指 標	20基	22基	24基
		実 績	20基		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年7月に20基のメータに対しデータ読取り機器と通信機器の設置が完了した。</li> <li>・設置完了後、検針データの受信状況テスト等を実施し（8月、9月）、正常に検針データを取得できたことから、令和5年10月より検針員による検針から自動検針に切替える予定である。</li> </ul>				

No. 17	推進事項	デジタル教材・機器を活用した学びの質の向上			
内 容	情報教育環境の充実や学びの質の向上を図るため、指導者・学習者用のデジタル教科書を段階的に導入し、検証するとともに、電子黒板を始めとするICT機器の整備を推進する。				
担当部課	教育委員会 指導課 ・ 学校施設課				
主な取組	①デジタル教科書の導入・検証 ②ICT機器の整備	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進指標	デジタル教科書の活用割合(週1回以上) 【R4年度:82.5%(12月現在)】	指 標	90.0%	95.0%	100%
		実 績	75.0%		
	普通教室における電子黒板(ディスプレイ型)の設置率 【R4年度:17.3%(12月現在) (73台/421教室)】	指 標	100%	—	—
		実 績	19.3%		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<p>【デジタル教科書の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初は教員の学年や学級の仕事が忙しい時期であるため、若干活用が出遅れたものの、上期中にはデジタル教科書のセットアップ作業が完了し、活用を進めることができた。</li> <li>・ICT支援員の活用、GIGAだよりによる啓発、指導主事の学校訪問における指導等により、デジタル教科書の活用について更なる推進を図っている。</li> </ul>				

(ウ) 脱炭素に向けた取組の推進（4項目）

No. 18	推進事項	脱炭素化の推進			
内 容	「ゼロカーボンシティひたち」の実現に向け、一般家庭における再生可能エネルギーなどの活用による脱炭素化と公共施設への再生可能エネルギー等の導入を推進する。				
担当部課	生活環境部 ゼロカーボン推進担当 ・ コミュニティ推進課 ・ 関係課				
主な取組	①再生可能エネルギーへの転換支援 ②省エネ等の啓発 ③コミュニティ環境活動への支援 ④公共施設への再生可能エネルギー等導入検討	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進指標等	家庭用蓄電システムの補助件数 【R3年度：91件】	指 標	100件	100件	100件
		実 績	145件 (申請件数)		
	公共施設・遊休地への太陽光発電導入等計画策定及び効率的な運用の検討	年度計画	計画策定	推進	推進
		実 績	策定中		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭用蓄電システムの補助申請については、再生可能エネルギーをより効率的に使用する意識が高まる中、堅調に推移しており、既に指標は達成した。</li> <li>・市報の特集記事による広報及び行政放送による番組作成等で脱炭素化に向けた啓発を実施するとともに、コミュニティ単会へ環境活動交付金による支援を行った。</li> <li>・公共施設への再生可能エネルギー等導入検討については、現在、公共施設108施設中78件の現地調査を実施済。太陽光発電設備未設置の施設は、電気使用状況や建物の構造調査の結果を踏まえ、導入可能な施設を把握し、導入計画を策定中。</li> </ul>				

No. 19	推進事項	気候変動に適応したまち（暑さ対策）の推進			
内 容	夏の厳しい暑さ対策として、公共施設・商業施設等を利用したまちなかオアシス（休息所）の普及を推進するとともに、夏でも自然の涼しさを感じられるクールスポットの情報発信や熱中症の注意喚起を行う。				
担当部課	生活環境部 環境推進課 ・ 関係課				
主な取組	①まちなかオアシスの普及推進 ②各種広報媒体を活用したクールスポットなどの情報発信	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進指標	新たに設置するまちなかオアシス数	指 標	57施設	10施設	10施設
		実 績	60施設		
	新たに紹介するクールスポットの件数	指 標	70件	30件	30件
		実 績	—		
	天気相談所の情報へのアクセス数 (ホームページの利用者や見学者数) 【R3年度：681,895件】	指 標	689,000件	695,400件	704,000件
		実 績	302,823件		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなかオアシスの普及促進の取組については、公共施設及び商業施設の60施設に協力を得て、休憩所として設置することができた。今後は、ドラッグストアなどに熱中症予防のアドバイスを含め協力を依頼するとともに、休憩所機能の充実を図る。</li> <li>・クールスポットの情報発信の取組については、市民から提供いただいた場所を含め各所を整理し、情報発信の準備を進めていたが、台風13号の大雨に伴い、各所の安全確認が必要なため、来年度にかけて現場確認を進める。</li> <li>・天気相談所の情報へのアクセス数については、ホームページの閲覧数は増加しているが、SNSが伸び悩んでいる。</li> </ul>				



No. 20	推進事項	中小企業の脱炭素経営の促進			
内 容	産学官連携によるコンソーシアムにおいて、脱炭素化の施策を検討・推進するなど、中小企業の脱炭素経営を促進する。				
担当部課	産業経済部 商工振興課				
主な取組	①中小企業脱炭素経営促進コンソーシアム協議会の開催 ②脱炭素経営の支援	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進指標	脱炭素経営窓口相談件数 【R4年度：76件（12月現在）】	指 標	80件	100件	120件
		実 績	43件		
	ゼロカーボンアクション表彰応募件数 【R4年度：20件（12月現在）】	指 標	20件	25件	30件
		実 績	—		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境省「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」の採択により、コンサルによる、中小企業脱炭素経営促進コンソーシアムにおける取組や、「日立市中小企業脱炭素経営支援システム」の運用に向けた支援を受けている。</li> <li>・令和5年度第1回中小企業脱炭素経営促進コンソーシアム協議会を開催（8月）し、参画機関における取組状況や、今後の方向性を共有した。</li> <li>・日立製作所製の「エコアシスト」を活用して、「日立市中小企業脱炭素経営支援システム」を構築し、利用事業者の募集を開始した。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【日立市中小企業脱炭素経営支援システム】          温室効果ガス（GHG）排出量の見える化から、GHG排出量削減策の検討、GHG排出量削減計画の策定・進捗管理まで、支援するシステム。（株）日立製作所が提供する環境情報管理システム『EcoAssist-Enterprise Light』を活用し、同社と連携して中小企業が使用できるように令和5年度に構築した。</p> </div> <p>※ ゼロカーボンアクション表彰は、10月以降募集開始予定（令和4年度同様）</p>				

No. 21	推進事項	ゼロカーボンZOOの検討			
内 容	温室効果ガスの排出削減を図るため、ゼロカーボンZOOの実践に向けた施設整備を検討する。				
担当部課	産業経済部 かみね公園管理事務所				
主な取組	①各獣舎暖房機器の燃料転換に向けた検討	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進計画	二酸化炭素量排出削減に向けた施設整備の検討	年度計画	検討	方向性決定	実施
		実 績	検討		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>各獣舎の暖房機器における燃料を灯油から太陽光発電、都市ガス等への転換に向けた検討を進めている。</li> <li>また、動物園第3次再整備事業計画を踏まえた施設整備の実施時期と併せ、ボイラーが経年劣化している獣舎（ゾウ舎、サイ・カバ舎、モンキー館、キリン舎等）の暖房機器更新に伴う、二酸化炭素排出量やランニングコストの削減効果について検討を進めている。</li> </ul>				

## イ 【重点項目2】 更なる財源確保・経費削減の検討推進（7項目）

No. 22	推進事項	新たな財源確保に向けた取組（継続）			
内 容	クラウドファンディング(用途を具体化した上で募るふるさと寄附金)の実施など、新たな財源確保に向けた取組を推進する。				
担当部課	財政部 財政課 ・ 関係課				
主な取組	①クラウドファンディングの実施 ②市が発行する冊子等への有料広告の推進	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進指標	クラウドファンディング実施 事業 【R4年度：3事業】	指 標	2事業	2事業	2事業
		実 績	—		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<p>【クラウドファンディング】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの実績を踏まえ、更に実施効果を高めるため、ふるさと寄附金の寄附額が最も少ない第4四半期（令和6年1月以降）に、特にPR性の高い1事業に絞り込み、募集期間を長めに設定して集中的に実施することとした。</li> </ul> <p>【有料広告】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内イントラ掲示板で「財源確保のための有料広告の取り組みについて（お願い）」（5月25日付け）を掲載し、有料広告の取組を推進</li> </ul> <p>【企業版ふるさと納税】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たな財源確保に向けた取組として、「企業版ふるさと納税」制度の活用に必要な地域再生計画について令和5年3月31日付けで国から認定を受け、制度の活用を今年度から開始した。</li> <li>※ 令和5年度上期寄附受入れ実績：1件（金額：10万円、企業名：株式会社アプリシエイト、受入れ日：令和5年9月20日）</li> </ul>				

No. 23	推進事項	地場産品等の活用によるふるさと寄附の確保（継続）			
内 容	安定的な財源確保を図るため、魅力ある地場産品等の発掘・活用など、ふるさと寄附の確保に向けた取組を推進する。				
担当部課	財政部 市民税課 ・ 産業経済部 観光物産課				
主な取組	①魅力ある地場産品、体験型等の発掘・活用 ②市のイメージ向上につながる情報発信	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進指標	新規地場産品返礼品追加数 【R4年度：17品】	指 標	7品	7品	7品
		実 績	1品		
	新規体験型返礼品追加数 【R4年度：2品】	指 標	3品	3品	3品
		実 績	1種 22品		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家電製品（紙パック式掃除機）を新たに返礼品として追加したほか、市内地場産品の新規採用に向けて市内事業者と協議を進めた。</li> <li>・市内遊漁船事業者と協議のうえ、22の事業者による遊漁船体験チケット（体験種：1種）を体験型返礼品として22品追加した。</li> <li>・寄附者の利便性を向上させるとともに、寄附の裾野を拡大するため、新たなポータルサイトとして、「三越伊勢丹ふるさと納税」の利用を開始した。</li> <li>・総務大臣通知（令和5年9月28日付け）により「ふるさと納税の対象となる地方団体の指定」を受けた（指定対象期間 令和5年10月1日から令和6年9月30日まで）。</li> </ul> <p>&lt;ふるさと寄附金申込状況（令和5年9月30日現在）&gt;  申込件数：5,909件、申込金額：812,949,000円</p>				

No. 24	推進事項	借地の解消推進（継続）			
内 容	借地料の縮減を図るため、施設の用途廃止による返地など、借地の解消に向けた取組を推進する。				
担当部課	財政部 公共財産管理課 ・ 関係課				
主な取組	①施設の用途廃止による返地 ②買収による借地の縮減	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進指標	用途廃止等による返地面積	指 標	1,000㎡	1,000㎡	1,000㎡
		実 績	—		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市営住宅（沢目団地）の年度内の用途廃止による返地に向けて、関係課所と打合せ及び情報共有を行った。</li> </ul>				

No. 25	推進事項	市営霊園管理料の収納業務強化			
内 容	霊園管理料の更なる収納率向上や納付者の利便性向上を図るため、多様な納付方法を検討する。				
担当部課	生活環境部 環境推進課				
主な取組	①市税等や近隣市町村の収納方法調査 ②コンビニ納付等の検討	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進指標	霊園管理料収納率 【R3年度：98.9%】	指 標	99.0%	99.1%	99.2%
		実 績	—		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<p>【令和4年度霊園管理料収納状況】          収納率 99.0% (前年比0.1%増 未済額62,470円削減)</p> <p>【過年度霊園管理料滞納整理実施状況】          (1) 実施期間          令和5年5月24日～6月23日          (2) 対象          令和4年度分及び複数年度対象者 43件</p> <p>【コンビニ納付等の検討】          霊園を管理運営している主な市町村を調査し、納付方法の検討を行った。</p>				

No. 26	推進事項	ジェネリック医薬品の利用促進（継続）															
内 容	国民健康保険被保険者の保険給付費などの伸びを抑制するため、ジェネリック医薬品（価格の安い後発医薬品）の利用促進に向けた取組を推進する。																
担当部課	保健福祉部 国民健康保険課 ・ 関係課																
主な取組	①利用啓発 ②医師会等との連携 ③差額通知対象条件の拡大	推 進 期 間															
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度													
推進指標	ジェネリック医薬品の利用率 【R4年度：79.1%】	指 標	80.0%以上	81.0%以上	82.0%以上												
		実 績	80.9%														
進捗状況	A 計画どおり進んでいる																
推進状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医師会・薬剤師会を訪問し、ジェネリック医薬品利用促進に係る協力を依頼（5月）</li> <li>・ 医師会・薬剤師会会員へ、被保険者へのジェネリック医薬品利用勧奨のためのポスター掲示を依頼（5月）</li> <li>・ 専門業者からの報告書を基に、令和4年度に送付したジェネリック医薬品利用差額等通知による経費効果等を確認（6月）</li> <li>・ 専門業者とのジェネリック医薬品利用差額等通知等に係る業務委託契約の締結（6月）</li> <li>・ ジェネリック医薬品利用希望カード（被保険者証交付時に保険証台紙に印刷）及びジェネリック医薬品に関する内容の記載があるパンフレットを配布（7月の被保険者証更新時及び新規国保加入者へ配布）</li> <li>・ 茨城県国民健康保険団体連合会集計の令和5年4月診療時におけるジェネリック医薬品利用率の確認（7月） (前年同時期の79.1%から1.8ポイント上昇した。)</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="3">ジェネリック医薬品利用率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国平均</td> <td>79.9%</td> <td>令和4年9月現在</td> </tr> <tr> <td>茨城県平均</td> <td>82.1%</td> <td>令和5年4月現在</td> </tr> <tr> <td>日立市</td> <td>80.9%</td> <td>令和5年4月現在 県内35位</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ FMひたちにおけるジェネリック医薬品に係る情報発信（9月）</li> </ul>					ジェネリック医薬品利用率			全国平均	79.9%	令和4年9月現在	茨城県平均	82.1%	令和5年4月現在	日立市	80.9%	令和5年4月現在 県内35位
ジェネリック医薬品利用率																	
全国平均	79.9%	令和4年9月現在															
茨城県平均	82.1%	令和5年4月現在															
日立市	80.9%	令和5年4月現在 県内35位															

No. 27	推進事項	公園管理経費の削減に向けた取組			
内 容	公園等の維持管理に係る経費削減のため、公園を守る会等への支援のほか、不点灯又は老朽化している公園灯の計画的なLED化を推進する。				
担当部課	都市建設部 都市整備課				
主な取組	①自走式草刈機等の貸出による公園を守る会等への支援 ②公園灯のLED化	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進指標	自走式草刈機の貸出台数 【R4年度：42台（12月現在）】	指 標	60台	75台	90台
		実 績	65台		
	公園灯のLED化率 【R3年度：40.1%】	指 標	50.0%	60.0%	70.0%
		実 績	54.0%		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<p>【自走式草刈機等の貸出による公園を守る会等への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自走式草刈機の貸出について市ホームページへの掲載、チラシの配布により周知を行い、自走式草刈機の貸出を促進した。</li> <li>・貸出用自走式草刈機の運搬・回収を実施し、公園を守る会等への支援を図った。</li> </ul> <p>【公園灯のLED化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不点灯の公園灯をLED電球に改修し、光熱費の削減を図った。</li> </ul>				

No. 28	推進事項	雨水管渠改築事業における工事費の削減			
内 容	雨水管渠改築工事費の削減のため、実施設計における各工法の比較検討や新技術の情報収集を行い、最も経済的かつ機能的な工法を採用し事業を推進する。				
担当部課	上下水道部 下水道課				
主な取組	①各工法の比較検討 ②新技術の情報収集 ③国土交通省との個別協議	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進計画	管渠改築予定排水区	年度計画	舟入川排水区	所沢川排水区等	八反原川排水区等
		実 績	舟入川排水区 (1件) 個別協議完了		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管渠改築工事の実施にあたり、国の補助金の交付要件として示されている工法以外の工法についても比較検討、情報収集のうえ、経済的かつ技術的に優れた工法の採用について、国土交通省との個別協議を実施し、工事費の縮減に努めている。</li> </ul>				

ウ 【重点項目3】 公共施設の最適化、公有財産の有効活用（16項目）

(ア) 公共施設の最適化（10項目）

No. 29	推進事項	公共施設マネジメントの推進（継続）			
内 容	公共施設の維持管理や更新経費の削減・平準化を図るため、公共施設の長寿命化等に向けた取組を推進する。				
担当部課	財政部 公共財産管理課 ・ 関係課				
主な取組	①公共施設マネジメント計画の推進 ②公共施設等総合管理基金の活用 ③トイレ整備計画に基づくトイレ整備	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進指標	公共施設マネジメント計画に基づく施設長寿命化等の取組件数 【R4年度：46件】	指 標	36件	25件	26件
		実 績	41件		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中期行動計画の取組状況について庁内調査を実施し、公共施設マネジメント推進会議（7/4）で報告した。</li> <li>・推進会議の下部組織として設置したワーキンググループ会議で協議をするため「公共施設の複合化・統廃合等のガイドライン」の素案等の作成を進めた。</li> <li>・トイレ整備計画に基づき、5施設の便器の洋式化などの整備を進めている。</li> </ul>				



No. 30	推進事項	農業水利施設の長寿命化の推進			
内 容	主要な農業水利施設（農業用排水路、取水堰、ため池等）の施設管理台帳を整備するとともに、個別施設計画を策定し、施設の長寿命化に向けた取組を推進する。				
担当部課	産業経済部 農林水産課				
主な取組	①農業水利施設管理台帳の整備 ②個別施設計画の策定	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進指標等	土地改良施設管理台帳の整備率	指 標	30%	80%	100%
		実 績	—		
	個別施設計画の策定（北部・西部・南部）	年度計画	検討	1地区	2地区
		実 績	検討		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<p>【農業水利施設管理台帳の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日立地区農業用水利施設管理台帳作成業務委託契約を締結した。</li> <li>・既存資料を基に、受託者が台帳作成に向けた整理を開始した。</li> <li>※ 令和5年度上期の実績については契約手続きのみ。</li> </ul> <p>【個別施設計画の策定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別施設について、計画の策定に向けた検討を開始した。</li> </ul>				

No. 31	推進事項	幼児施設の適正配置等の推進（継続）			
内 容	幼児教育・保育のより良い環境を整備するため、施設の適正配置及び幼児教育・保育環境の向上に向けた取組を推進する。				
担当部課	保健福祉部 子ども施設課				
主な取組	①利用者のニーズに応じた児童受入枠の調整及び適正配置の検討 ②計画的な大規模修繕等による教育・保育環境の向上	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進計画等	適正配置等の見直し	年度計画	検討	方針決定	実施
		実 績	検討中		
	計画的な大規模修繕等実施園数	指 標	4園	3園	3園
		実 績	2園		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みずき保育園の駐車場用地の取得完了及び整備工事の着工</li> <li>・かみちよう保育園の園児用トイレ改修工事の完了</li> <li>・面積及び保育士配置基準をクリアする園に対し、定員を上回る受入れを実施している。</li> </ul>				

No. 32	推進事項	市障害者就労支援施設（福祉作業所）の在り方検討			
内 容	民間施設の増加に伴い利用者数が減少している市の福祉作業所（4施設）について、利用者数の増加に向けた取組を推進するとともに、在り方を検討し、施設の最適化を図る。				
担当部課	保健福祉部 障害福祉課				
主な取組	①利用者数増加に向けた取組推進 ②課題分析 ③適正配置の検討	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進計画	利用者数増加の取組	年度計画	検討・推進	推進	検証
		実 績	検討・推進		
	適正配置の検討	年度計画	検討	検討	方針決定
		実 績	検討		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者導入施設の管理運営状況評価を実施した。</li> <li>・指定管理者であるひたち育成会と今後の施設の在り方について、意見交換を実施した。</li> <li>・利用者数増加の取組として、令和6年度からの昼食サービスの提供に向けて、ひたち育成会との協議・検討を開始した。</li> <li>・市内の障害福祉サービス事業所の実態及びニーズについて、アンケート調査（9/15～9/29）を実施した。</li> </ul>				

No. 33	推進事項	市営住宅の管理戸数の適正化（継続）			
内 容	市営住宅の管理戸数の適正化を図るため、市営住宅ストック総合活用計画に基づく用途廃止及び長寿命化に向けた取組を推進する。				
担当部課	保健福祉部 市営住宅課				
主な取組	①計画的な用途廃止及び返地による借地の解消 ②大規模修繕等による居住環境の改善	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進指標	用途廃止戸数	指 標	18戸	68戸	60戸
		実 績	—		
	計画修繕戸数	指 標	256戸	178戸	160戸
		実 績	—		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用途廃止については、解体工事の発注準備を進めた。</li> <li>・計画修繕については、外壁・給水管改修工事の発注準備を進め、一部工事に着手した。</li> <li>・なお、市営住宅ストック総合活用計画を令和5年3月に改定したことに伴い、計画修繕戸数については、次のとおり変更となっている。 (令和5年度：206戸、令和6年度：202戸、令和7年度：264戸)</li> </ul>				

No. 34	推進事項	さくらのまちづくりの推進（継続）			
内 容	平和通りの桜並木を将来に継承するため、ひたちさくら彩(いろ)プラン（日立市さくらのまちづくり基本計画）の基本方針に基づき、「さくらのまち日立」の原風景を次の世代に引き継ぐまちづくりを推進する。				
担当部課	都市建設部 さくら課				
主な取組	①桜の計画的な更新 ②第Ⅱ期更新計画の策定 ③桜の魅力発信	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進指標	平和通りの桜の更新本数 【R4年度：5本】	指 標	5本	5本	5本
		実 績	7本伐採		
	さくらのまちづくりに関する 情報発信 【R4年度：4回】	指 標	5回	5回	5回
		実 績	1回		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衰弱した危険木について、台風等による倒木を未然に防ぐことを目的に7本伐採・伐根を実施した。</li> <li>・第Ⅱ期更新計画に向けて、若木を除く桜を対象に樹木医による診断を実施し、更新優先木等の検討を開始した。</li> <li>・日立さくらまつりに出展し、パネル展示や桜を楽しむガイドツアー、パンフレット等の配布を実施した。</li> </ul>				

No. 35	推進事項	上下水道事業の安定的なサービス提供に向けた取組（継続）			
内 容	将来にわたり上下水道事業の安定的なサービス提供を継続するため、「日立市上下水道事業経営戦略」に基づく上下水道施設の計画的な耐震化に向けた取組を推進する。				
担当部課	上下水道部 水道課 ・ 下水道課 ・ 浄化センター				
主な取組	①上下水道管路施設の耐震化 ②池の川処理場施設の耐震化	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進指標	上水道管路の耐震化率 (耐震管路/主要管路) 【R3年度：40.9%】	指 標	41.0%	41.1%	42.1%
		実 績	41.0%		
	下水道管路の耐震診断率 (耐震診断実施管路/重要管路) 【R3年度：41.1%】	指 標	46.4%	48.9%	54.4%
		実 績	47.1%		
	池の川処理場施設の耐震化率 (耐震施設/施設) 【R3年度：27.8%】	指 標	38.9%	38.9%	38.9%
		実 績	33.3%		
進捗状況	B 計画より遅れている				
推進状況	<p>【上水道管路の耐震化率】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1送水管撤去工事を上期に発注し、施工完了したことから目標を達成している。</li> </ul> <p>【下水道管路の耐震診断率】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 管路施設耐震実施設計委託により、耐震診断(2.7km)とマンホール浮上抑制工(9基)を発注したことで、目標を達成している。</li> </ul> <p>【池の川処理場施設の耐震化率】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 耐震診断結果に基づき、耐震性能の補強が必要とされた施設に対し、耐震化工事の実施を計画していたが、台風13号の大雨被災により処理場施設に甚大な被害が発生したため、令和5年度に予定していたB系機械棟耐震化工事は、施工が困難となり目標に届いていない。</li> </ul>				

No. 36	推進事項	漏水調査の効率的な実施（継続）			
内 容	水資源の有効活用と漏水による道路陥没等の防止のため、漏水調査の効率的な実施に向けた取組を推進する。				
担当部課	上下水道部 水道課				
主な取組	①衛星画像を利用したA Iによる漏水調査等の検討 ②漏水調査（音聴方式・監視方式）の調査サイクルの見直し ③漏水危険区間の絞り込み等による調査成果の検証	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進計画	衛星画像を利用したA Iによる漏水調査等	年度計画	検討	実施・検証	実施・検証
		実 績	検討		
	漏水調査（音聴方式・監視方式）の調査サイクルの見直し	年度計画	検討	実施・検証	実施・検証
		実 績	検討		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜川市、福島市のA Iを利用した漏水調査の視察及び資料の確認をした。</li> <li>・現在国内でA Iを利用した漏水調査を行っている3社に見積もりを依頼し、令和6年度実施に向け検討した。</li> <li>・漏水調査の調査サイクルにA Iによる漏水調査を組込み、見直しをかけている。</li> </ul> <p>※ 3社：ジャパン・トゥエンティワン株式会社、東亜グラウト工業株式会社、株式会社天地人</p>				

No. 37	推進事項	水道施設の維持管理の効率化			
内 容	業務の効率化を図るため、水道施設における点検方法の見直しや施設の延命化に向けた円滑な業務遂行への取組を推進する。				
担当部課	上下水道部 浄水課				
主な取組	①施設点検方法の見直し	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進計画	点検方法のマニュアル作成	年度計画	検討	作成	運用・検証
		実 績	検討		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の点検実施状況における各施設の課題の確認や問題点の抽出を行っている。</li> <li>・併せて、今後行うべき点検項目の見直しを検討している。</li> <li>・また、令和6年度に導入予定である設備台帳システムに関連付けし、今後の事務の効率化が行えるよう取組を進める。</li> </ul> <p>所管施設数 90施設 (取水導水:5施設、浄水:6施設、送水:18施設、配水:60施設、その他:1施設)</p>				

No. 38	推進事項	学校再編の推進（継続）			
内 容	「学校再編計画」に基づき、児童生徒のより良い学習環境を維持するため、学校再編に向けた取組を推進する。				
担当部課	教育委員会 学校再編課				
主な取組	①基本方針に基づく目指す学校規模の確保 ②小中学校の連携強化 ③学校跡地の活用	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進計画	学校再編計画に基づく統合 目標校	年度計画	—	東小沢小・坂本小	平沢中・駒王中、 坂本中・久慈中
		実 績	—		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>各統合準備委員会を開催し、円滑な統合に向けて協議を進めることができた。（第4回東小沢小学校・坂本小学校統合準備委員会（4/26）、第3回坂本中学校・久慈中学校統合準備委員会（5/19）、第4回坂本中学校・久慈中学校統合準備委員会（書面開催）、第3回平沢中学校・駒王中学校統合準備委員会（5/25）、第5回山部小学校・櫛形小学校統合準備委員会（5/30））</li> <li>7/20号市報に記事（各統合準備委員会の進捗状況、統合校の名称の選定経緯、令和5年度の予定等）を掲載し、学校再編の進捗状況について周知を図ることができた。</li> <li>本庁地区の学校再編に関する保護者説明会（7/29・7/31）を開催し、再編計画の内容や本庁地区の統合の進め方等について周知を図ることができた。</li> <li>「学校再編に伴う東小沢小学区の児童及び就学予定者の保護者向け通学支援事業に係る説明会・公共交通教室（9/16）」を開催し、来年度から実施予定の通学支援方法等について周知を図ることができた。</li> </ul>				

(イ) 公共施設の魅力向上・宣伝強化による利用促進（6項目）

No. 39	推進事項	文化施設等の魅力向上（継続）			
内 容	文化施設の利用拡大のため、インフルエンサー（影響力のある発信者）を活用した情報発信や、ライブビューイング（動画配信によるコンサート等）の検討など、魅力向上に向けた取組を推進する。				
担当部課	生活環境部 文化・国際課				
主な取組	①インフルエンサーを活用した情報発信 ②ライブビューイングの検討	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進指標	文化施設公式SNSのフォロワー数	指 標	6,100人	7,300人	8,760人
		実 績	6,971人		
	文化事業参加者数及び文化施設の入館者数 (文化事業：ひたち国際大道芸、ひたち秋祭り等 文化施設：日立シビックセンター、市民会館、 角記念市民ギャラリー、吉田正音楽記念館) 【R3年度：199,917人】	指 標	240,000人	288,000人	345,600人
		実 績	344,612人		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<p>新型コロナウイルスの影響により減少していた施設利用者数が回復傾向にあり、また、ひたち国際大道芸が4年ぶりに実施となったため、参加者数が指標より大幅に上回った。</p> <p>【日立シビックセンター・市民会館】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種イベントやコンサートの情報などをSNSを活用して積極的に発信した。</li> <li>・インフルエンサーとしてシビックアンバサダーを活用して各種情報を発信した。</li> <li>・施設利用コーディネータ制度を設け、利用者に対しきめ細やかな対応を行い利便性の向上を図ることで、施設の魅力向上につなげた。</li> </ul> <p>【文化事業（ひたち国際大道芸等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大道芸会場の様子を細目にSNS（X）で発信し情報をリアルタイムに更新することで、イベントの臨場感を伝えるとともに、会場に足を運ばせるきっかけを作った。</li> </ul> <p>【角記念市民ギャラリー】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸館内容の情報発信を行うとともに、自主企画展（夏期）を開催し、市民がさまざまなアートに触れる機会を提供した。</li> </ul> <p>【吉田正音楽記念館】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を幅広い世代に届けるため、インスタグラムを新たに開設し、イベントはもとより、カフェの新メニューや新商品の情報発信を積極的に行った。</li> <li>・企画展を実施し入館者の増加を図るとともに、ボランティアグループと協働で記念館周辺の環境整備等を行い、施設の魅力向上を図った。</li> </ul>				



No. 40	推進事項	かみすわ山荘の魅力向上			
内 容	多様な利用者層への利用拡大を図るため、インフルエンサー（影響力のある発信者）を活用して魅力を発信するとともに、市民のニーズに合った魅力向上に向けた取組を検討する。				
担当部課	生活環境部 女性若者支援課				
主な取組	①インフルエンサーを活用した情報発信 ②かみすわ山荘魅力づくり構想の検討	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進指標等	かみすわ山荘の利用者数 【R3年度：895人】	指 標	1,000人	1,200人	1,450人
		実 績	1,857人		
	かみすわ山荘魅力づくり構想	年度計画	策定	推進	推進
		実 績	策定中		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かみすわ山荘利用者にアンケートへの協力をお願いし、ニーズ調査を行った。</li> <li>・また、ホームページを利用し、かみすわ山荘を利用していない方へのアンケートも行った。</li> <li>・かみすわ山荘魅力づくり構想の内容検討を行った。</li> </ul>				

No. 41	推進事項	観光施設の魅力向上（継続）			
内 容	更なる交流人口の拡大やにぎわい創出を図るため、民間事業者の知見をいかした施設の活性化や、SNS等を活用した情報発信力の強化など、観光施設の魅力向上に向けた取組を推進する。				
担当部課	産業経済部 にぎわい施設課 ・ かみね公園管理事務所 ・ 関係課				
主な取組	①民間事業者との協議を踏まえた施設改修・整備 ②動物園のWEBチケット導入検討 ③SNS等を活用したイベント情報の発信	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進指標	入場者数（かみね動物園、奥日立きららの里、鶴来来の湯、久慈サンピア日立） 【R3年度：408,186人】	指 標	493,000人	522,000人	552,000人
		実 績	287,822人		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<p>&lt;入場者数内訳（4月～9月）&gt; かみね動物園：165,897人、奥日立きららの里：32,552人、鶴来来の湯：64,823人、久慈サンピア日立：24,550人</p> <p>【施設改修・整備】 ・かみね動物園（展望広場、ビーバー舎竣工 6月）</p> <p>【かみね動物園WEBチケットの導入】 ・有料入園者数の約1割がWEBチケットを購入しており、窓口販売の混雑解消及び来園者の利便性向上が図れた。（実績9,708人【参考】有料入園者数：96,188人）</p> <p>【SNS等を活用したイベント情報の発信】 ・かみね動物園、奥日立きららの里、鶴来来の湯の各施設においては定期的な更新を行い、情報発信による集客向上が図れた。</p>				

No. 42	推進事項	スポーツ施設の魅力向上			
内 容	市民の健康維持増進とスポーツへの参加機会創出を図るため、施設の利便性向上のほか、スポーツツーリズムやイベントの実施により、スポーツ施設の魅力向上に向けた取組を推進する。				
担当部課	教育委員会 スポーツ振興課				
主な取組	①施設整備と効率的な施設運営 ②スポーツツーリズムの推進 ③連携協定プロスポーツチーム、トップアマチュアスポーツチームとの交流促進	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進指標	スポーツ施設の利用者数 【R3年度：691,999人】	指 標	1,000,000人	1,050,000人	1,100,000人
		実 績	—		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<p>【施設整備と効率的な施設運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規開設した会瀬スポーツ広場の効率的な施設運営のため指定管理者を導入した。</li> <li>・日立市スポーツ施設整備計画に基づき施設のトイレ更新工事の契約を依頼した。</li> <li>・ICTによる施設管理の導入検討のため先進事例の調査を行った。</li> </ul> <p>【スポーツツーリズムの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスター、チラシを更新し、周知を図った。</li> </ul> <p>【連携協定プロスポーツチーム、トップアマチュアスポーツチームとの交流促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・BCリーグ（茨城アストロプラネッツホームゲーム）、JABA日立市長杯選抜野球大会、日本卓球リーグ（レゾナックホームゲーム）等を誘致、開催した。</li> <li>・このほか、水戸ホーリーホックトレーニングマッチを誘致したが、台風13号の影響により中止となった。</li> </ul>				

No. 43	推進事項	図書館の魅力向上			
内 容	各図書館の特色をいかしたサービスの提供や新たな魅力あるサービスの創出、新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に開始した、非来館型の図書館サービスである電子書籍貸出サービスの利用促進、図書館ホームページや動画を活用した情報発信など、図書館の魅力向上に向けた取組を推進する。				
担当部課	教育委員会 記念図書館				
主な取組	①魅力あるサービスの提供 ②学校と連携した利用促進 ③図書館の魅力発信	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進指標	図書館の利用者数 【R3年度：175,461人】	指 標	244,100人	251,400人	258,700人
		実 績	98,153人		
	電子書籍貸出者数(令和3年7月開始) 【R3年度：1,440人】	指 標	2,100人	2,400人	2,700人
		実 績	677人		
	電子書籍貸出回数(令和3年7月開始) 【R3年度：4,511回】	指 標	6,500回	7,500回	8,500回
		実 績	2,191回		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力あるサービスの提供として、「ジャズと朗読の夕べ」「大人になってから読む絵本展」参加型パネル展示「テンちゃんぬりえ」、南部図書館「10年のあゆみ」展等を開催した。</li> <li>・9月より、朝読の時間などに電子書籍の青空文庫の活用を希望する市内小・中学校20校と連携し、利用促進を図っている。</li> <li>・図書館の魅力発信として、令和6年1月の図書館情報システムの更新に当たり、図書館専用のホームページ（子どものページを含む）を作成中である。</li> </ul>				

No. 44	推進事項	博物館の魅力向上			
内 容	I T技術を活用した非来館者向けのサービスの提供や、館外での講座・講演会・出前授業などの出張サービスの実施により、博物館の魅力向上に向けた取組を推進する。				
担当部課	教育委員会 郷土博物館				
主な取組	① I T技術を活用した展示・案内の推進 ②館外での講座・講演会・出前授業の積極的な開催	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進指標	博物館ホームページ・SNSの閲覧数 【R3年度：374,243件】	指 標	400,000件	415,000件	430,000件
		実 績	144,755件		
	館外活動・学校支援活動等の受講者数 【R3年度：793人】	指 標	800人	900人	1,000人
		実 績	339人		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WEB上での資料のデータベース公開、SNSを活用した博物館資料及び各種活動の情報発信を行っている。また、WEB上で公開する常設展示室のVR画像を撮影し、年度内の公開に向けて作業を進めている。</li> <li>・館外での講座・講演会・出前授業などについても、例年どおり実施している。</li> </ul>				

## エ 【重点項目4】 行政の見える化、情報発信力の強化（7項目）

No. 45	推進事項	データの有効活用の推進（継続）			
内 容	市民サービスの向上と時代の要請に応じた実効性の高い政策展開を図るため、保有データの有効活用に向けた取組及びデータ分析による政策立案を推進する。				
担当部課	市長公室 政策企画課				
主な取組	①オープンデータの拡充 ②データ分析による政策立案	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進指標	オープンデータの新規公開件数 【R1～R4年度平均値：4.75件】	指 標	5件	5件	5件
		実 績	—		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度公開すべきデータの検討を行った。</li> <li>・人口減少を始めとした地域課題の解決に向けて、デジタルを活用したスマートシティを進めている会津若松市の事例を調査するため、8月に仙台市で行われたセミナーに参加し、会津若松市における取組状況等をヒアリングした。</li> </ul>				

No. 46	推進事項	市政情報の発信方法に関する在り方検討			
内 容	各広報媒体の特性をいかした効果的な情報発信を行うため、市報や行政放送の在り方について検討するとともに、市公式ホームページの再構築のほか、ひたちナビ（スマートフォン向け地域情報アプリ）の利用を促進する。				
担当部課	市長公室 広報戦略課 ・ デジタル推進課				
主な取組	①市報の在り方検討（紙面構成等） ②行政放送の在り方検討（インターネット放送局の充実、行政放送番組の検証等） ③市公式ホームページの再構築 ④ひたちナビの利用促進	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進指標	ホームページのアクセス件数 (行政一般ページ) 【R3年度：4,447,238件】	指 標	5,250,000件	5,512,000件	5,787,000件
		実 績	2,611,776件		
	ホームページの満足度	指 標	70%	73%	76%
		実 績	73.8%		
	ひたちナビのダウンロード数 【R4年度：19,635件(12月現在)】	指 標	23,000件	26,000件	29,500件
		実 績	22,241件		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市ホームページの再構築について、令和6年3月1日予定の運用開始に向け、トップページなどのデザイン作成、システム構築に係るデータ移行作業等を行った。</li> <li>・令和6年度に実施予定のケーブルテレビ行政放送番組改編に向け、委託事業者（JWAY）と調整を行った。</li> <li>・ケーブルテレビ行政放送番組やインターネット用動画を制作し、インターネット放送局に動画を掲載し、市政情報の発信に努めた。</li> <li>・さくらまつりにひたちナビPRのブースを設置し、ダウンロード数の向上に努めた。</li> </ul>				

No. 47	推進事項	総合防災情報システムの導入による災害時情報収集・伝達体制の充実			
内 容	災害時の正確で迅速な情報収集・管理・伝達のため、総合防災情報システムを導入する。				
担当部課	総務部 防災対策課				
主な取組	①総合防災情報システムの導入 ②災害時情報の一斉発信方法の検討	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進計画	総合防災情報システムの導入	年度計画	検討・準備	導入	運用
		実 績	検討・準備		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合防災情報システムの導入については、国の総合防災システムの導入又は改修の動向を調査しつつ、詳細仕様を検討するため、5社からシステムのデモを受け、仕様書案及び概算見積を聴取した。</li> <li>災害時情報の一斉配信については、総合防災情報システムの連携を意識しながら、新たな職員用メールシステムの導入やLINEによる情報配信を行うこととした。</li> </ul>				

No. 48	推進事項	若者視点による魅力発信の推進			
内 容	若者世代が求める即時性・双方向性のある情報を効果的に発信するため、若者の視点を取り入れた若者による情報発信の取組を推進する。				
担当部課	生活環境部 女性若者支援課				
主な取組	①若者による本市の魅力や行政情報の発信 ②市民クリエイター（広報技術者）の育成	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進指標	若者団体公式SNS等のフォロー数 【R3年度：788人】	指 標	1,500人	1,800人	2,200人
		実 績	2,038人		
	市民クリエイター数（累計） 【R4年度：6人（12月現在）】	指 標	8人	10人	12人
		実 績	6人		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>日立市青少年イベント企画部及びひたち若者がかがやき会議が運営する公式SNSにおいて、各若者団体の取組状況に加え、本市の魅力や行政情報を、若者の視点により発信することができた。</li> <li>令和5年度は、下期に実施予定の市民クリエイター養成講座において、日立市をより魅力的に伝えられる若者を増やしていく。</li> </ul>				

No. 49	推進事項	救急車の適正利用の啓発（継続）			
内 容	軽症患者による救急車の不適正利用の減少を図るため、各種広報媒体を通じた啓発など、救急車の適正利用に向けた啓発を推進する。				
担当部課	消防本部 警防課				
主な取組	①適正利用の啓発 ②救急相談電話等の広報	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進指標	軽症者（救急搬送傷病者）の割合 【R4年：51.4%】	指 標	50.0%以下	50.0%以下	50.0%以下
		実 績	51.5%		
進捗状況	B 計画より遅れている				
推進状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種媒体を利用し、救急車の適正利用についての広報活動を行った。 （市ホームページ、ひたちナビ、日立市報、日立市役所・多賀支所待合スペース設置モニター、JWAY等）</li> <li>・各種媒体を利用し、救急相談電話等の利用を促す広報活動を行った。 （市ホームページ、ひたちナビ、日立市報、JWAY）</li> </ul> <p>&lt;搬送人員における軽症者の割合&gt; 令和5年（9月30日現在）：51.5%（軽症者 3,695名/ 搬送人員 7,168名） 令和4年：51.4%（軽症者 4,636名/ 搬送人員 9,011名）</p> <p>&lt;軽症者の割合増加の理由&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・40%台半ばで推移していた軽症者の割合が、昨年夏頃からのコロナウイルス感染症第7波以降、50%台へと増加し、今年になっても40%台後半、夏場には50%を超えた状態である。</li> <li>・さらには、軽症者に占める発熱傷病者の割合も昨年より微増となっており、7・8月においては、昨年同様に高い割合となっている。</li> <li>・このことから、昨年のコロナウイルス感染症第7波が引き金となり、発熱症状の軽症者の救急要請が増加した状態が、5類移行後の現在も未だ継続している状態であると考えられる。</li> </ul>				



No. 50	推進事項	住宅用火災警報器設置及び維持管理の推進（継続）			
内 容	火災の未然防止及び被害の軽減を図るため、各種広報媒体を通じた住宅用火災警報器の設置や維持管理の広報など、住宅用火災警報器の設置率の向上に向けた取組を推進する。				
担当部課	消防本部 予防課				
主な取組	①設置及び維持管理の広報 ②高齢者世帯への戸別訪問による設置等啓発・点検	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進指標	国の方針に基づく抽出調査による住宅用火災警報器の設置率 【R4年度：80%】	指 標	81%以上	82%以上	83%以上
		実 績	77%		
進捗状況	B 計画より遅れている				
推進状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度における指標の数値を下回った理由として、住宅用火災警報器の調査対象の一つであった山間部地区の設置率が低かったことが要因として考えられる。</li> <li>・設置率が低い山間部地区に対し、日立市防災協会の協力を得て作成した住宅用火災警報器設置促進のチラシを市報に折込み配布した。(5,940部)</li> <li>・蜂の巣除去等の対応後や自主防災訓練等の市民と接する機会に設置促進のチラシを配布した。</li> <li>・住宅用火災警報器設置促進ポスターを各交流センター、日立駅前出張所、シビックセンターのデジタルサイネージで掲示した。(計25か所)</li> <li>・市報、行政放送、FMひたち等を活用した広報を実施した。</li> <li>・市ホームページや各種SNSを活用した広報を実施した。</li> <li>・高齢者世帯への戸別訪問による設置啓発及び点検を実施した。</li> </ul> <p>(参考) 令和5年度の住宅用火災警報器設置率(市町村別) 県内14位</p>				

No. 51	推進事項	学校給食の情報発信の充実（継続）			
内 容	学校給食における更なる理解促進を図るため、食への関心を高めるための取組など、学校給食の情報発信内容の充実に向けた取組を推進する。				
担当部課	教育委員会 北部学校給食共同調理場				
主な取組	①情報発信内容の充実（特色ある献立等） ②児童生徒の食育推進	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進指標	教育委員会ホームページの学校給食に関する情報閲覧件数 (特色ある献立紹介) 【R3年度：21,049件】	指 標	21,680件	22,330件	23,000件
		実 績	8,414件		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	特色ある給食献立の掲載 ・特色のある献立(行事食等) 閲覧数 3,710件(更新回数10回) ・地場産物の献立 閲覧数 2,694件(更新回数 5回) ・給食レシピ 閲覧数 2,010件(更新回数 5回) 閲覧数合計 8,414件 ※ そのほかに毎日の給食も掲載 閲覧数 20,292件(更新回数70回)				

(2) 【基本方針2】 業務改革に積極的にチャレンジする環境づくり (3項目)

ア 【重点項目】 職員の人材育成、事務改善の活性化推進 (3項目)

No. 52	推進事項	職員の人材育成の推進 (継続)																		
内 容	多様な行政課題に対応できる職員を育成するため、新たな人材育成計画に基づき、職員の更なる能力向上に向けた取組を推進する。																			
担当部課	総務部 人事課 ・ 上下水道部 総務課 ・ 教育委員会 総務課																			
主な取組	①時代に即した研修内容の検討 ②各種研修や自主研修支援の実施	推 進 期 間																		
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度																
推進指標	研修受講回数 (1人当たり) 【H29~R3年度平均値: 2.7回】	指 標	3.7回	3.7回	3.7回															
		実 績	1.4回																	
	外部講師研修終了アンケートにおける満足度「良かった」の割合 【H29~R3年度平均値: 63%】	指 標	75%	75%	75%															
		実 績	76%																	
進捗状況	A 計画どおり進んでいる																			
推進状況	<p>【時代に即した研修内容の検討】</p> <p>・ 第5次日立市人材育成計画「日立市ひとづくりプラン」に基づき、重点的に取り組む事項として、「基礎力の強化」、「コミュニケーション力の強化」、「キャリア開発の促進」、「デジタル時代への対応」の4つの項目を掲げ、複雑化・多様化する行政課題に対応する人材を育成するための取組を実施した。</p> <p>【各種研修や自主研修支援の実施】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>回数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自主研修</td> <td>19回</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>職場研修</td> <td>12回</td> <td>736人</td> </tr> <tr> <td>職場外研修 (階層別研修、実務教養研修等)</td> <td>197回</td> <td>1,132人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>228回</td> <td>1,890人</td> </tr> </tbody> </table>					区分	回数	人数	自主研修	19回	22人	職場研修	12回	736人	職場外研修 (階層別研修、実務教養研修等)	197回	1,132人	計	228回	1,890人
区分	回数	人数																		
自主研修	19回	22人																		
職場研修	12回	736人																		
職場外研修 (階層別研修、実務教養研修等)	197回	1,132人																		
計	228回	1,890人																		

No. 53	推進事項	職員提案・実績報告制度の活性化			
内 容	職員の事務改善意識の向上及び組織の活性化のため、職員提案制度・実績報告制度の活性化に向けた取組を推進する。				
担当部課	総務部 行政マネジメント課 ・ 関係課				
主な取組	①職員提案の募集方法の見直し ②事務改善等に関する職員研修の実施	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進指標	職員提案の件数 【H29～R3年度平均値：26件】	指 標	30件	35件	40件
		実 績	4件		
	実績報告の件数 【H29～R3年度平均値：30件】	指 標	35件	40件	40件
		実 績	—		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実績報告制度の活性化に向け、7月に令和5年度の実施概要（11月頃に集中募集期間設定）を周知した。</li> <li>・新任係長及び新任職員研修の中で、職員提案・実績報告制度の概要を説明することで、改善意識の向上を図った。</li> </ul>				

No. 54	推進事項	消防職員の人材育成の推進（継続）			
内 容	消防に対する市民ニーズの多様化や激甚化する大規模災害等に対応するため、消防職員人材育成計画に基づき、消防に関する知識や技能習得機会の充実など、消防職員の更なる能力向上に向けた取組を推進する。				
担当部課	消防本部 総務課				
主な取組	①消防に関する専門研修の充実 ②派遣研修の促進及び各種資格取得の推進	推 進 期 間			
		令和5年度 (実績はR5.9.30現在)	令和6年度	令和7年度	
推進指標	研修受講回数（1人当たり） 【R1～R3年度平均値：2.9回】	指 標	3.9回	3.9回	3.9回
		実 績	2.4回		
進捗状況	A 計画どおり進んでいる				
推進状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防大学校派遣職員による研修、火災予防条例改正に伴う研修、ドローン導入に伴う研修を実施し専門的知識の習得機会を充実させた。</li> <li>・研修方法を動画配信にするなど、受講しやすい環境を整えた。</li> <li>・消防業務に必要な研修を案内し、資格取得の推進を図った。</li> </ul>				